



## 2025年 & 2050年のビジョン策定まで

---

- 小学生～高校生(10～17歳)の子供たちを中心とした「六甲アイランド世界子供環境サミット委員会」を10～20名程度で立ち上げる
- 「未来社会(2025年)にどんな街に住みたいか、どんな暮らしがしたいかについて」六甲アイランドの住民(子供を含む)に意識調査を実施
- (大人への質問)「2050年にみなさんはいくつですか？」 そのときにどんな暮らし方をしたいですか。みんなの子供には、どんな未来を残したいですか。」  
(子供への質問)「2025年には、みなさんはいくつですか？そのときにはどんな仕事をしていると思いますか。家族とこんな暮らし方をしてみたい。こんな街に住んでみたいという夢を教えてください。」

★同時に「環境について、どんなことをやっていますか？また、これからはじめようと思っていますか？」についてのアンケートも行い、CO2削減可能指数を算出していく。  
アンケートの中身は、チームマイナス6%のあてはまる項目にチェックする形式。

<http://www.team-6.jp/about/action/index.html>

★願いごとを集めるスキームとして、言の葉さらさらプロジェクトを参考にWEB活用  
<http://www.kotosara2025.jp/>

15



## ビジョンと現状のギャップを埋める ロードマップ

---

**バックキャスティング手法**が効果的なのは、ひとたび理想の社会を共有できたなら、次に理想の社会と現状のギャップが何なのかを明確にし、どうしたら実現できるのかについてロードマップをひくことで、理想の社会へ必要な戦略を選択できること。

- **今後は、2050年に向けた明確なロードマップ共有が必須です。**

16



## 複数の未来を想定するシナリオ・プランニング手法とは？

---

未来は誰にも予測できないということを前提に、未来の不確定要素から重要なものを選択し、そのインパクトの大きさから**複数のシナリオを導き出す**手法です。

理想のシナリオ以外の状況になった場合のことも想定し、考えられるすべての戦略を事前に練っておくことでリスクの最小化が可能です。

17



## シナリオプランニング事例

---

シナリオプランニング事例

- ロイヤル・ダッチ・シェル社 「2050年超長期エネルギーシナリオ」
- 松下電器グループ「2025年の社会とくらしのシナリオ」

<http://www.panasonic.co.jp/eco/rpt/er01.pdf>

- 新日本石油 「2020年のエネルギー産業とライフスタイル」

<http://www.eneos.co.jp/company/csr/report/2003/contents01d.html>

18



## 未来を変えるのは、今

---

★「わたしたちが住んでいる地球は、いま、存在の危機に直面しています。それをどうしたら止められるか、みんなで一緒に考えてみましょう。ひとりで見る夢はただの夢。一緒に見る夢は必ず現実になるのです。」（オノ・ヨーコ）

→今の私たちの決断と行動によって、  
未来を変えることができる！